



運動会についてたくさんの励ましの声をいただいています。とてもありがたく全部ご紹介したいくらいです。紙面が限られますが、できるだけご紹介いたします。

「権理」への道 チームのために



みんな一生懸命で思わず我を忘れて応援してしまいました。終わった後も子ども達の顔はイキイキとしていてよかったです。

5・6年生の組体操・騎馬戦がなかったのが残念でしたが、違う形でリレーが行われ楽しく見させていただきました。毎年恒例にしてもよいと思っただけです。

先生方の見守りの中で、「子どもが主役」ということをすべての場面で感じ取ることができ、清々しい気持ちになりました。

転んだり遅くゴールしたりしても笑ったりバカにしたりせず、声をかけたりがんばれと応援していた。

友達と何をするのも楽しそうにしている、こっちまで笑顔になりました。

競技や係など普段家で見られないところを目の当たりにできたことはうれしいことでした。

2年生になり、競技を待つ間、ちゃんと見ることができて、勝ち負けはもちろんありますが楽しく参加してうれしかったです。1年生をサポートするように走る姿に、下級生を大切にすることって見ていて気持ちがよかったですし、そういうふうには上級生達がやって見せているからなんだなあと思えました。

コロナ禍でも、子ども達はいきいきと全力でやっていました。真剣な表情、笑顔、…。ずっと楽しそうでした。どんな状況でもひたむきで前向きな姿に子ども達のたくましさを感じました。

2学年ごとの競技が多く、上級生が下級生を引っ張る姿がたくさん見られ、よい雰囲気の良い学校だなと思いました。

走るのが苦手な子どもも楽しく笑顔で取り組んでいたのととてもよい雰囲気のチームだなと思いました。苦手なことも楽しくできるのは素晴らしいことだと思います。

縮小体制とはいえ、全員参加、全員主役のような感じで十分にみることができました。

勝ち負けを超え、チームの枠を越え みんなのために



係りをちゃんとできるか親の方が心配でしたが、見ている限りはできているようでほっとしました。

整列するとき、高学年の子達が、低学年にやさしく指示し前を向かせていたのが印象的でした。

最後の運動会なのに種目も減り残念だなと思いつつ見に行きましたが、開会式の団長の姿を見て感動。騒がしく落ちつきのない子ども達がこんなに成長するんだなあと感じ。係をやる姿も競技をする姿もみな一生懸命ですばらしかった。コロナがなければとがっかりした気持ちを吹き飛ばしてくれました。

先生が応援太鼓を運んでいたとき応援団が駆けつけ手伝っていました。家に帰ってからそのことを子どもに話して聞かせました。自然に優しい行動ができる姿に感動しました。

1回しかない応援合戦は気迫と勝利への想いが観覧席まで届き感動しました。



勝ち負けよりも仕事をやり終えたことでホッとしていました。順位を間違えないようにゴールで取り組む姿は競技より真剣でした。



高学年の生徒が低学年への声がけ気配がよくできていてそのおかげで運動会がスムーズに行われていたと思います。

毎年高学年がよく下の子を見てくれてありがたいです。こうやって毎年よいことが受け継がれているのだなあと思いました。

お伝えしたいことを全部、おうちの方が書いてくださいました。本当によく見ていただいています。自分の子だけでなくよその子も、競技だけでなくその合間も、1つ1つの動きや込められた子ども達の心の動き、さらには、それまでの練習や取り組みの様子まで思っただいただいています。本当にありがたいです。